

# 地域連携NEWS



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY

医療サービス推進課医療連携室  
Vol.58 2015年9月発行

〒173-0015

東京都板橋区栄町35番2号

TEL03(3964)1141(代表)

FAX03(3964)1982(代表)

## 血管外科 下肢静脈瘤レーザー血管内治療のご紹介



血管外科 部長  
中澤 達

### 当院の特徴

- ① 下肢静脈瘤のレーザー血管内治療が第一選択
- ② 常勤の2人が下肢静脈瘤血管内焼灼術指導医
- ③ iPadによる図を用いた分かりやすい手術説明
- ④ 弾性ストッキングコンダクター(\*)による術後ストッキング着用指導  
\*講習会の受講、一定の患者指導を行うことで日本静脈学会が認定する資格

### 下肢静脈瘤の治療法

下肢静脈瘤は患者さんにより症状が大きく異なるため、医師が患者さんと相談して最適な治療法を決定します。

- ① 圧迫療法    ② 硬化療法    ③ ストリッピング手術    ④ **レーザー血管内治療**

海外では10年以上前より実施されている手術で、2011年1月より健康保険の適応となった**最新の治療法**です。局所麻酔下にレーザーファイバーを静脈内に挿入して血管内で熱を発生させて静脈を閉鎖します。傷は膝の内側辺りに**1.5mm程の針穴**1か所で焼灼できます(図1)。閉鎖した静脈は4-6か月ほどで吸収され、なくなってしまいます。さらに下腿部の静脈瘤に対してもいくつかの**3mm程の傷**から静脈を引っ張り出して抜去します(図2)。傷は小さいため縫う必要がありません。当科では2011年11月より下肢静脈瘤に対するレーザー血管内治療を導入し、低侵襲であることから適応のある患者様にはこの治療法をお勧めしています。

今後ともご紹介よろしくお願ひ申し上げます。

### レーザー血管内治療の利点

- ・局所麻酔で行えるため、手術当日の歩行が可能
- ・手術創が小さい(3mm程度で縫合は不要)
- ・手術時間が短い(通常60分以内)
- ・術後の疼痛が軽い

図1

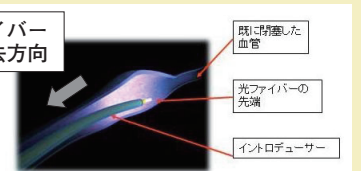
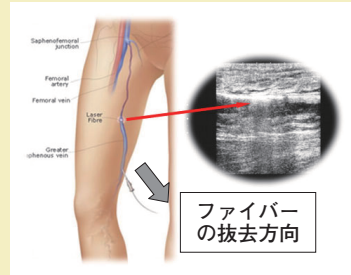


図2



### ～医療連携室直通電話のご案内～

医療連携室直通：**03-3579-6963** (平日9:00～17:00)  
代表電話：03-3964-1141 内線1139～1142でも承ります。

医療連携室では直通電話番号をご用意しております。迅速な対応に努めておりますので是非ご利用下さい。

予約専用電話	検査予約	医療連携室
(外来予約専用) <b>03(3964)4890</b> (対応時間) 月～金 9:00～17:00  当センターは紹介予約制です。ご紹介の際は、紹介状とご予約をお願いいたします。	(代表電話番号) <b>03(3964)1141</b> (対応時間) 月～金 9:00～17:00 ◎CT、MRI、骨密度 (内線2187) ◎RI (SPECT、PET検査) (内線2154) 検査科にてスムーズな予約対応を行っております。	医療連携についての問い合わせ (代表電話番号) <b>03(3964)1141</b> (内線：1139～1142) <b>FAX:03(3964)1392</b> ホームページ： <a href="http://www.tmg Hig.jp/">http://www.tmg Hig.jp/</a> (過去の地域連携NEWS、講演会のご案内、医療連携室のご案内はホームページでご覧いただけます。)

●東武東上線「大山」駅下車  
南口・北口より徒歩4分

●都営地下鉄三田線  
「板橋区役所前」駅下車  
A2出口より徒歩11分  
お車でお越しの方に駐車場(駐車料無料)も御用意しております。駐車台数に限りがあることを、予めご承知おきください。



# 血液内科のご紹介



血液内科 部長  
宮腰 重三郎

血液内科は主に、若年者と比較して発症頻度が10倍以上と高く、若年者と同様な治療が困難であるばかりか、多くの合併症を抱えている高齢者の急性骨髄性白血病、骨髄異形成症候群に対して常勤医3名、移植コーディネーター1名と看護師24名で、各科の協力のもと積極的治療を行っています。施設面では、見晴らしの良い11階西病棟に36床の無菌病室を完備した無菌病棟を設け、院内感染を起こさない工夫と患者様の肉体的、精神的負担を極力軽減するように心がけています。

当科は、大学病院を含め他施設では施行が難しい高齢者血液疾患、特に74歳までの前期高齢者に対する同種造血幹細胞移植を積極的に施行していることが特徴になります。高齢者造血幹細胞移植の難しさは、患者様が高齢であるばかりか、兄弟姉妹の提供者も高齢であるため、提供が難しいことです。そこで当科は、タイムリーなことに、提供者に負担をかけることのない非血縁者間臍帯血移植の認定病院にも指定されています。また、移植後の合併症を軽減する工夫を施行しています。高齢者血液疾患に対する治療方針、特に造血幹細胞移植に対するセカンドオピニオンも随時受け付けおります。

さらに、急性骨髄性白血病や骨髄異形成症候群において、抗がん剤や同種造血幹細胞移植が困難な症例に対して、がんワクチンの臨床治験も積極的に行っています。

症例のご紹介よろしくお願いたします。



臍帯血ユニット

20~25mlと少ないですが、ちゃんと生着します。



ヘパフィルターを経由した  
きれいな空気が出てきます。  
当センターで手術室より  
クリーンな病棟です。



血液内科病棟からの眺望

# 連携医療機関のご紹介



院長 鹿戸 福子先生

## 〈院長挨拶〉

下赤塚診療所 鹿戸 福子先生  
下赤塚診療所は、小豆沢病院を中核とした7診療所の内の1つです。1987(S61)年にビルの4階で開業し、その後2006(H18)年に赤塚一番通り商店街の中のマンションの1階に移転し、現在に至っています。

私は2007(H19)年に前所長より引き継ぎ、今年で9年目になります。もともとは消化器専攻で、内視鏡等やっておりましたが、現在地に移転する折にスペースの関係で内視鏡を中止しており、現在は専門を活かしつつ内科の総合診療を行っております。

地域のかかりつけ医として、私は、自分が患者として医療機関にかかる時、“こうして欲しいな” “こうあってくれればいいな” と思うような医療をしようと思っています。それは外来でも在宅でも同じです。医師として治療の基本方針は方針として、最良の治療はそこにご本人やご家族の思いも取り入れて初めてできるものと考えております。

親病院として小豆沢病院が控えてくれています。当院は小豆沢病院よりは最も遠く、よりアクセスしやすい健康長寿医療センターには、入院のみならず、専門外来でも大変お世話になっております。今後も様々な場面でお世話になることと思っておりますが、どうぞよろしくお願致します。

## 下赤塚診療所

住所 〒175-0092 東京都板橋区赤塚2-9-4 MAISON Y・K 1階

電話 03-3979-6361 FAX 03-3979-6360

診療科：内科

休診日：水曜日午後、土曜日午後、日曜日、祝祭日

診療時間：午前9時~12時 午後14時~17時

